

CORPORATE PROFILE
会社案内

トップメッセージ



平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

SMBC信託銀行代表取締役社長の萩原でございます。日頃より皆さまから温かいご支援・ご愛顧を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、当行は、2013年10月、ソシエテジェネラル信託銀行をSMBCグループに迎え入れてスタートしました。その後2015年11月に、シティバンク銀行のリテールバンク事業を迎え入れたことで、従来の「信託」「不動産」に加えて、PRESTIAブランドの「外貨」という3つの機能を活かした幅広いソリューションを提供しております。具体的には、信託ビジネスでは、資産運用立国の実現に向け、お客さまの運用・承継・管理・保全といった様々なニーズに対して、信託銀行ならではのソリューションを提供しております。

不動産ビジネスでは、大型仲介案件の成約等、仲介ビジネスが近年成長を続けてきているほか、アセットマネジメント業務の強化にも取り組んでおります。

外貨ビジネスでは、「GLOBAL PASS®(多通貨Visaデビット型キャッシュカード)」をはじめとする外貨決済サービスや、豊富な外貨建運用商品の提供を通じ、外貨預金残高については国内シェアにおいてトップクラスとご評価頂いております。また、外貨のエッジを活かしながら、金融資産のみならず非金融資産のニーズに対してもお応えする「総資産アプローチ」を展開しており、プライベートバンキングのお客さま向けには、充実した信託運用・承継・不動産・ローンなどのソリューションを提供しております。

加えて、金融の力を通じた社会課題解決にも、積極的に取り組んでいます。東京都が創設した「官民連携アフォードブル住宅供給促進ファンド」では、子育て世帯等が安心して暮らせる住環境づくりに貢献する新たなモデルの構築に参画しています。さらに、高齢化社会における将来不安に寄り添う取り組みとして、相続時に円滑・迅速に相続人口座に引き継げる「スマート相続口座」のオプションとして、ご本人様の判断能力の低下に備えた「スマート代理人(予約代理人特約)」サービスの提供を開始しました。これらは、SMBC信託銀行だからこそ実現できる社会的価値の一例です。

今般、当行はSMBCグループの唯一の信託銀行として10年後のあるべき姿を見据えた新たなビジョンを「信託・不動産・外貨をエッジにお客さまと社会をつなぐ Best “Trust” Bank」と定め、2026年度からは「Power of “Trust” ～新たな次元へ～」をスローガンとした新中期経営計画をスタートさせました。“Trust”には、「信託」と「信頼」という二つの意味を込めています。

私たちは今後も、従業員一人ひとりの専門性とチームワークを最大限に引き出す組織文化を大切にし、そこから生まれる当行ならではのサービスを通じて、ステークホルダーの皆さまから信頼される誇りある企業を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

萩原 攻太郎

理念体系／銀行の概要

当行では、以下の理念体系を経営における普遍的な考え方として定め、役職員一人ひとりの行動の源泉として企業活動を行っております。



当行は、「SMBCグループ」の一員です。

SMBCグループ

SMBCグループは、商業銀行、信託銀行、証券会社をはじめとしたグループ会社等を通じて、お客さまに付加価値の高い金融サービスをご提供しております。

持株会社

三井住友フィナンシャルグループ

銀行

三井住友銀行
SMBC信託銀行

リース

三井住友ファイナンス&リース

証券

SMBC日興証券

カード、コンシューマーファイナンス

三井住友カード
SMBCコンシューマーファイナンス

システム開発・情報処理等

日本総合研究所

アセットマネジメント

三井住友DSアセットマネジメント

会社概要			(2026年3月31日現在)
会社名	株式会社SMBC信託銀行 (英語名：SMBC Trust Bank Ltd.)		
設立年月日	1986年2月25日		
資本金	875億5千万円		
大株主の状況			(2026年3月31日現在)
	(1) 普通株式	(2) 無議決権株式	
株主名	株式会社三井住友銀行	株式会社三井住友銀行	
所有株式数	3,418千株	900千株	
持株比率	100.00%	100.00%	

SMBC信託銀行の歩み

SMBC信託は2013年にソシエテジェネラル信託銀行を前身としてスタートしました。その後2015年に、シティバンク銀行のリテールバンク事業を迎え入れたことで、従来の「信託」「不動産」に加えて、PRESTIAブランドの「外貨」という3つの機能を活かした幅広いソリューションを提供しております。



HISTORY OF SMBC Trust Bank

主な経済トピックス

1996年 日本版金融ビッグバン	2005年 ペイオフ解禁	2010年 欧州債務危機、米ドッド・フランク法制定	2016年 日本銀行がマイナス金利政策を導入	2020年 新型コロナウィルスの世界的な蔓延	2024年 マイナス金利政策の解除、日経平均株価がバブル期の最高値を更新
1999年 日本銀行がゼロ金利政策導入	2006年 日本銀行がゼロ金利政策解除	2013年 日本銀行が量的・質的金融緩和政策を導入	2017年 英国がEU離脱を決定（Brexit）	2021年 東京2020オリンピック開催	2025年 大阪・関西万博開催
2000年 金融庁発足	2007年 米国でサブプライムローン問題発生		2018年 顧客本位の業務運営に関する原則公表	2022年 ロシアのウクライナ侵攻開始	
	2008年 リーマン・ショック発生		2019年 米中貿易摩擦	2023年 シリコンバレー銀行の破綻、UBSによるクレディ・スイスの買収	
			2019年 消費税率10%へ引き上げ		

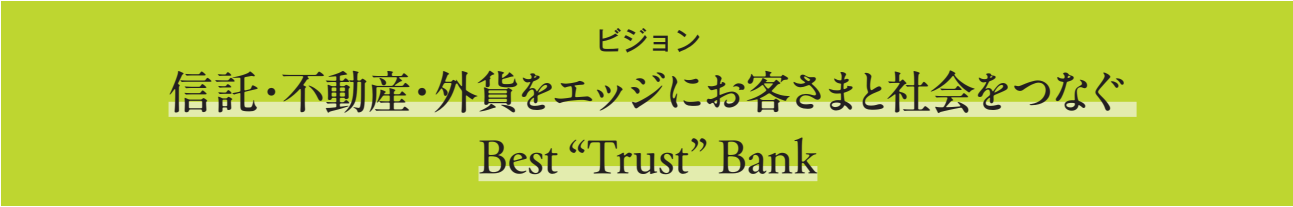
中期経営計画

当行は、SMBCグループの一員として、2026年度から2028年度までの3か年を計画期間とする中期経営企画を策定しております。

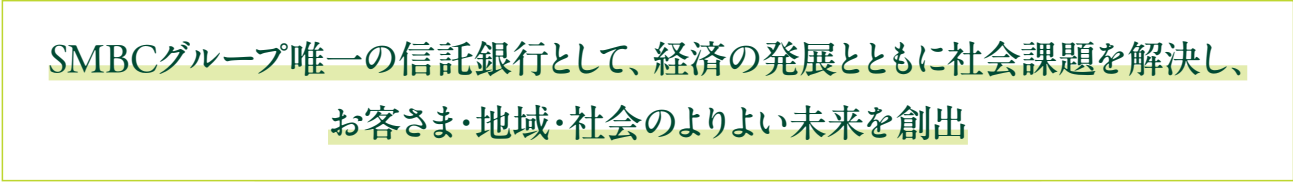
今後の業務環境の変化を踏まえ、信託・不動産・外貨といった当行が提供できるサービス・ソリューションの力をもう一段レベルアップさせることで、お客さまとともに更なる成長を目指したい、そのような思いを込めて、「Power of “Trust”～新たな次元へ～」を中期経営計画のスローガンとして掲げました。

また、SMBCグループ唯一の信託銀行として、当行の強みを生かしたソリューションを提供することにより、経済の発展とともに社会課題を解決し、お客さま・地域・社会のよりよい未来の創出にも貢献してまいります。

今後も、信託・不動産・外貨などの当行の特徴あるサービス・ソリューションの提供を通じて、ビジョンとして掲げている「信託・不動産・外貨をエッジにお客さまと社会をつなぐ Best “Trust” Bank」の実現に向けて歩みを進めてまいります。



社会的価値創造の目指す姿



事業紹介

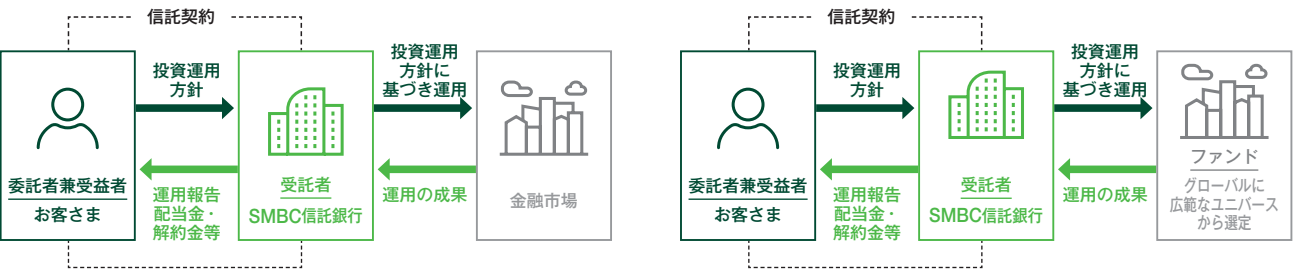
信託

運用・承継・管理・保全ニーズに対して、さまざまなソリューションをご提供します。

資産運用・管理

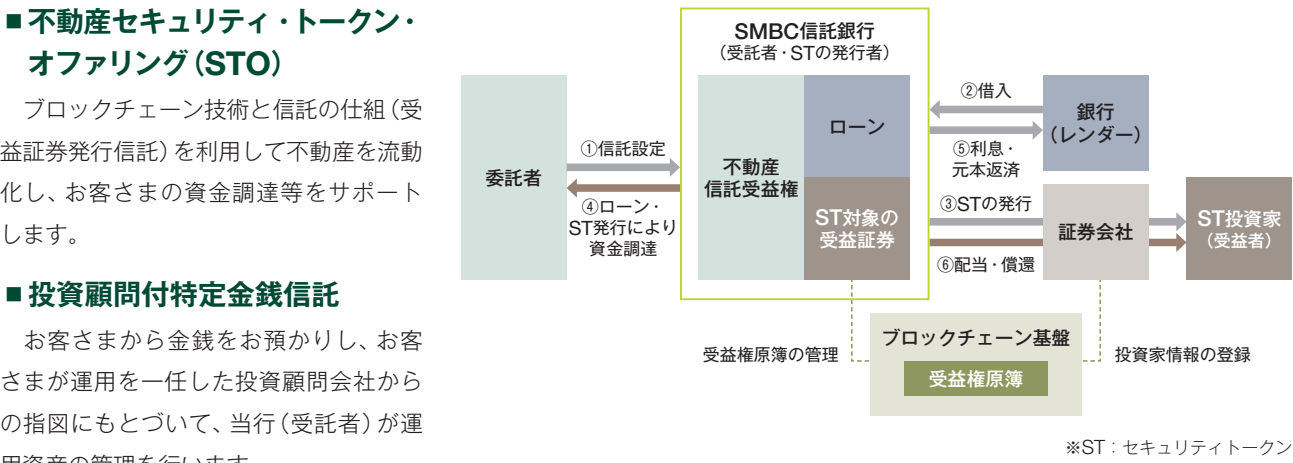
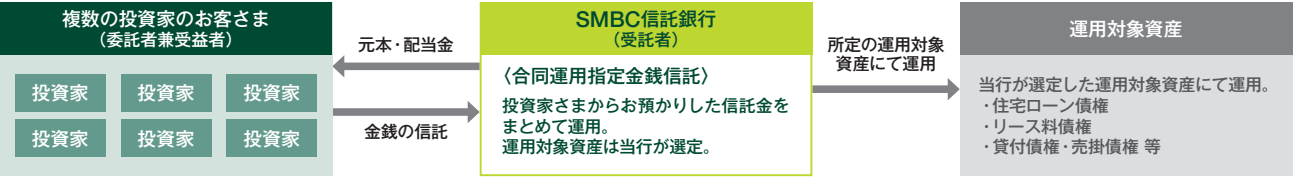
お客さまの運用目的やリスク許容度をもとに、最適な運用ソリューションをご提供します。
信託を活用することで、お客さまの資産を長期にわたり保全・管理いたします。

- 単独運用指定信託 (DPM※)
- 単独運用指定金外信託 (ファンドトラスト)



※DPM (Discretionary Portfolio Management)

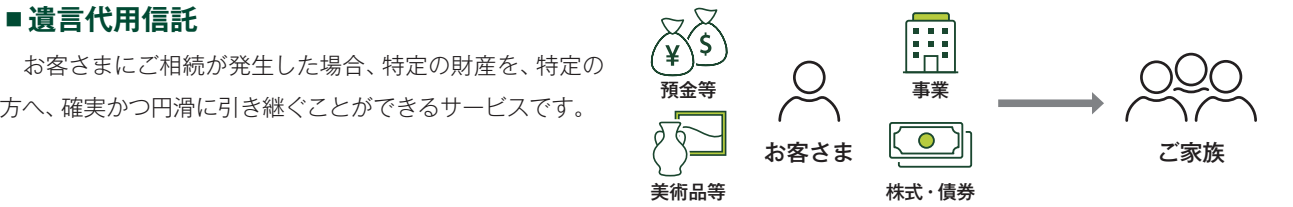
- 合同運用指定金銭信託
- 複数のお客さまより信託された金銭をまとめ、合同運用いたします。運用対象は当行が選定いたします。



- 投資顧問付特定金銭信託
- お客さまから金銭をお預かりし、お客さまが運用を一任した投資顧問会社からの指図にもとづいて、当行 (受託者) が運用資産の管理を行います。
- ※ST：セキュリティトークン

資産承継

遺言では実現しきれないお客さまのさまざまな資産承継・事業承継ニーズに対し、円滑な資産や事業の承継をサポートいたします。



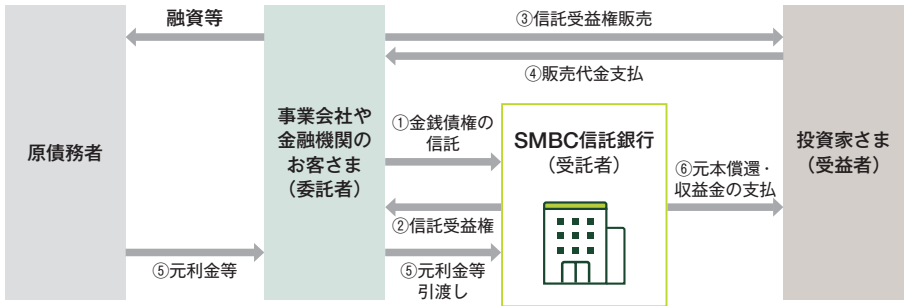
事業紹介

資産流動化

保有する金銭債権をオフバランス化することで財務指標の改善を支援いたします。

■ 金銭債権信託

お客さまが保有する様々な金銭債権を当行にて信託受益権化し、資金調達のサポートをするとともに、投資家さまに投資機会をご提供します。



上記以外にも、お客さまのニーズにあわせて、様々な商品・ソリューションを提供しております。
■有価証券管理信託 ■有価証券取得/処分信託 ■オルタナティブファンドを投資対象とする投資信託（私募/公募） ■美術品信託 など

PRESTIA

外貨取引を軸としたグローバルでプレミアムな商品・サービスをご提供します。

外貨決済

お客さまが保有する外貨を外貨のまま利用・決済するサービスをご提供します。

■ PRESTIA

豊富な外貨関連サービス

- GLOBAL PASS（多通貨Visaデビット一体型キャッシュカード）
～世界200以上の国と地域のATMで現地通貨が引出せる
キャッシュカードにデビット支払機能付帯
- GLOBAL COMPASS
～「海外×お金」をテーマにした当行の情報メディア

幅広いチャネル展開

- コールセンター、プレスティアオンライン・モバイル、アプリ
- 来店不要のオンライン面談サービス

英語対応

- Global Branch、コールセンター
～外国人のお客さまは英語での手続き・お取引が可能



特別優待プログラム／海外人事関連のソリューション

- 海外赴任者・駐在員・日本駐在の外国人幹部社員などのお客さまに対して当行行員がサポートいたします。（ご提携先のお客さまには特別優待プログラムをご用意しております）
- グローバル企業向けに海外人事関連のソリューションを提供しております。

運用

数あるラインナップの中から、お客さまの最適な商品を提案いたします。

■ 外貨預金

取扱通貨は全17通貨

取扱通貨は、米ドル、豪ドル、ニュージーランドドル、英ポンド、カナダドル、ユーロ、スイスフラン、シンガポールドル、香港ドル、オフショア中国人民元、タイバーツなど。多様な通貨で運用が可能です。

アナリストによる豊富なマーケット情報

市場の動向や経済ニュースなど、アナリストが提供する投資判断に役立つ情報をお届けします。デیلیーマーケットレポートの配信や、YouTubeで最新のマーケット情報を発信しています。

■ 投資信託

お持ちの外貨をそのまま投資
対象通貨は米ドル、ユーロ、豪ドル、ニュージーランドドル。

豊富な商品ラインナップ
外国籍投資信託*の取扱い数は100ファンド以上。

コンサルティング
経験豊富なスタッフがお客さまのニーズにあわせてご説明。

PCやスマホからいつでも取引
早朝5:00～翌日深夜2:00まで、好きなお時間でオンラインによるお取引が可能。

※ 外国籍投資信託には、為替リスクやカントリーリスク等、外国籍投資信託特有のリスクがあります。

ローン

お客さまのお借入れ目的に合わせたローン商品をご提供します。

- 最大5億円までお借入れ可能な住宅ローンや証券担保ローン ■ 不動産投資ローン、セカンドハウスローン など

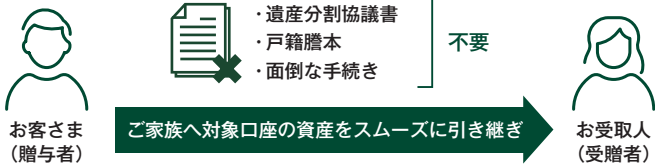
相続

「スマート相続口座」のサービスを活用し、お客さまの資産をご家族にスムーズに引き継ぎます。

お受取人（受贈者）と受取割合を指定していただくだけで

ご契約時▶ お客さま（贈与者）とお受取人（受贈者）の続柄を確認する戸籍謄本等の書類の提出が不要。

相続発生時▶ 名義書換に通常必要な、遺産分割協議書・戸籍謄本等の書類の提出が不要。



※ SMBC信託銀行に口座をお持ちでないお受取人（受贈者）は口座の開設が必要です。

プライベートバンキング

信託機能を活用したテラーメイド型の資産運用商品をはじめ、資産承継・事業承継・不動産業務などに関して、お客さまのご家族を含めた世代を超えた幅広いトータル・ソリューションをご提供します。

プライベートバンキング3つの魅力

1 お客さまと長期にわたり、揺るぎない信頼関係を構築
専任のプライベートバンカーが、お客さまとご家族に長期わたって寄り添い、大切な資産の課題に対して世代を超えてお応えします。

2 信託の仕組みを最大限に活用し、大切な資産の運用・管理・保全をサポート
ライフステージに応じて、さまざまな信託ソリューションをご提供します。

3 SMBCグループ連携を通じたスピーディかつトータルなソリューションをご提供
国内有数の金融グループであるSMBCグループのネットワークおよび信用力を活かした多様な金融サービスをご提供します。

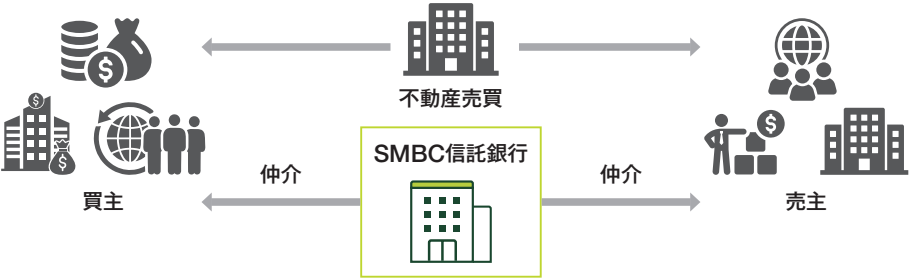
事業紹介

不動産

法人や国内外の投資家、富裕層などのお客さまの不動産関連取引ニーズに対して、さまざまなサービスをご提供します。

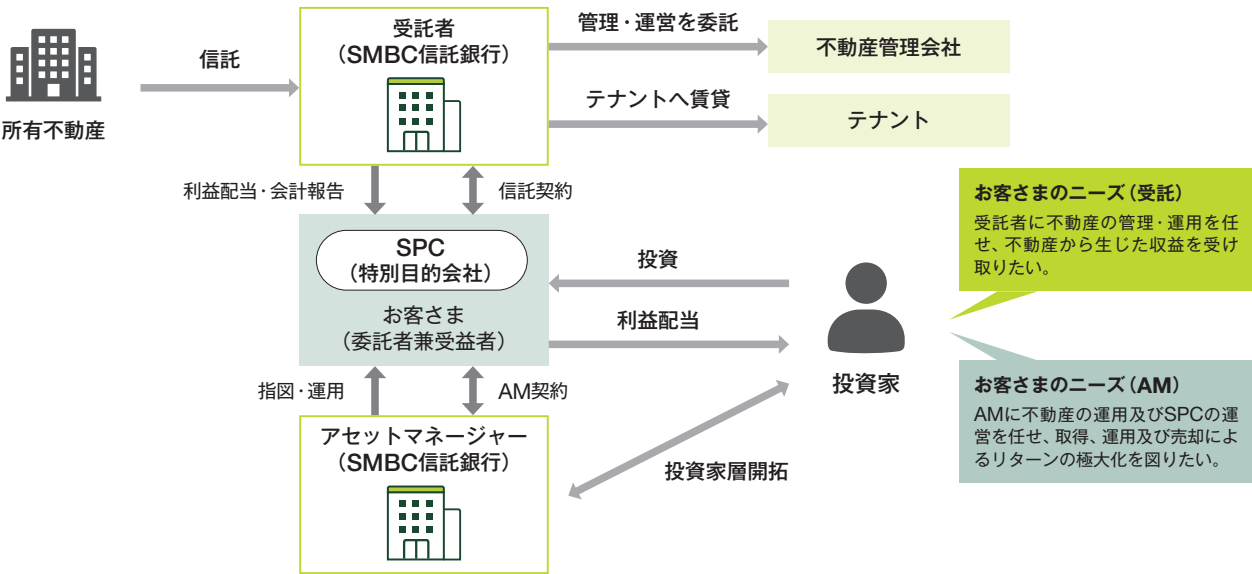
不動産仲介

法人もしくは富裕層のお客さまの不動産売買ニーズに対応する形で、さまざまな不動産の売却や購入に対して、総合的なアドバイザーとしてお客さまをサポートいたします。



不動産アセット
マネジメント

お客さまの不動産への投資運用ニーズにお応えいたします。物件の購入、保有期間中の運用、最終的な売却まですべてのステージで投資判断に必要なサポートやサービスをご提供します（助言を含む）。



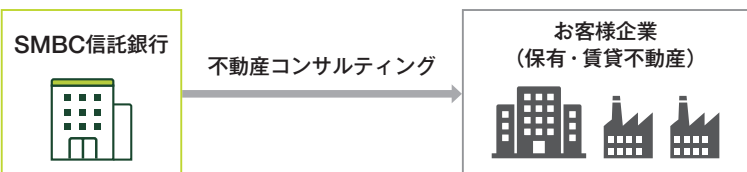
不動産信託

お客さまが保有する不動産の信託受託ニーズ（不動産の管理をしてほしい、信託期間終了後は処分したい等）にお応えいたします。



不動産
コンサルティング

お客さま企業が保有する不動産の調査、有効活用などのコンサルティングに加え、信託銀行の強みである「不動産・金融・税務」に、SMBCグループの総合力を活かし、企業の経営課題を解決するためのCRE戦略[※]を提案し、お客さまに必要なサポートやサービスをご提供します。



※CRE (Corporate Real Estate) 戦略
企業が保有または賃借するすべての不動産を「経営資源」として捉え、企業価値を最大化するために最適化する戦略です。

サステナビリティ
への取組

お客さまのニーズに応えるとともに、社会課題の解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献します。

当行はSMBCグループの一員として、社会課題の解決と経済的価値の創出の両立を通じ、人々の幸せがあふれる社会の実現に貢献してまいります。SMBCグループのマテリアリティに基づき、信託・不動産・外貨など当行の強みを活かし、お客さま・地域・社会の持続的な発展に取り組んでいます。

マテリアリティ	当行の取組事例
 緑の地球 緑豊かな地球を 私たちの子孫へ	● 気候変動 ● 自然資本 ● 循環経済 ■ 再生可能エネルギービジネス ■ 本社オフィスで使用する電力の再生可能エネルギーへの切替 ■ グリーン信託ABL (Asset Backed Loan) ■ 森林保全活動への寄付 ■ インターネットバンキング各種お手続き・住宅ローン手続きのデジタル化・投資信託注文アプリ
 輝く人々 誰もが希望を持って 挑戦できる社会へ	● 貧困・格差 ● 教育 ● 人権 ■ 官民連携アフォーダブル住宅供給促進ファンド ■ フィランソロビーアドバイザー専門家紹介 ■ TABLE FOR TWO (TFT) プログラムによる寄付活動 ■ 金融経済教育 ■ 若手芸術アーティスト支援 "PRESTIA Art Branch NEXT" ■ 障がい者スポーツ支援
 幸せな成長 心豊かな成長を 日本から世界へ	● 産業活性化 ● 少子高齢化 ● デジタル ■ ファミリーバトン（贈与サポートサービス） ■ スマート相続口座・スマート代理人（予約代理人特約） ■ 認知症サポーター養成支援 ■ 信託機能を利用した認知症対応型の事業承継支援

代表的な取組事例

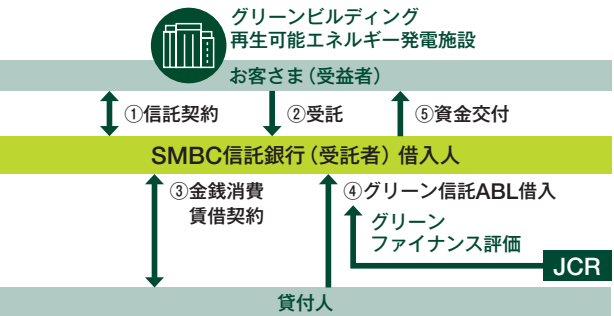
再生可能エネルギービジネス

太陽光発電設備および敷地の利用権（所有権、賃借権または地上権）を受託し、信託財産を管理するとともに信託受託者として売電により得た収入を原資に受益者への配当を行うなど、再生可能エネルギービジネスへの取組を行っています。



グリーン信託ABL (Asset Backed Loan)

グリーンビルディングや再生可能エネルギー発電施設を信託財産とし、受託者である当行が借入人となって受益者の資金調達のために行う資産担保借入を行っています。



森林保全活動への寄付

2025年度は約251万通の紙明細書を削減し、インターネットバンキングによる各種手続きで約11.6万枚の紙を削減しました。紙使用削減による費用節減によって増加した利益の一部を、森林保全活動を行う環境保護団体に寄付いたしました。引き続き、ペーパーレス化を推進するとともに、森林保全活動へ寄付を行ってまいります。

金融経済教育

2022年度より高校の家庭科に資産形成に関する項目が追加されたことから、金融機関による出張授業などが期待されている中、当行はSMBCコンシューマーファイナンスと協働のもと、未来を担う学生に対し、金融に関する正しい知識の習得とともに、適切な“お金の使いかた”ができるよう支援するため金融経済教育を実施しております。加えて、英語での講義等の提供を行っています。



障がい者スポーツ支援

当行はゴールボールの普及と強化に取り組む「一般社団法人日本ゴールボール協会」をオフィシャル・トップ・パートナーとして、応援しています。またパラリンピックの正式種目であるゴールボールのアスリートが在籍するなど、障がい者の雇用にも取り組んでいます。



官民連携アフォーダブル住宅供給促進ファンド

SMBC信託銀行は、東京都が創設した「官民連携アフォーダブル住宅供給促進ファンド」において、運営事業者として参画しています。ファンドおよび物件のアセットマネジメント業務を担い、子育て世帯等が住みやすい住環境の形成や、民間主体での供給機運の醸成に貢献していきます。

コーポレートガバナンス

基本的な考え方

当行では、当行および三井住友フィナンシャルグループの経営理念のもと、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営上の最優先課題の一つとして、その実効性の向上に取り組んでおります。

当行は、監査役会設置会社として、以下の体制を敷いております。

取締役会

当行の取締役会は、取締役12名で構成されております。このうち1名が社外取締役であるほか、取締役会議長には、業務執行を行わない取締役会長が就任しており、取締役の職務の執行を客観的に監督する体制を構築しています。

社外取締役には、弁護士としての豊富な経験と法務全般に関する専門的知見を有している専門家を迎え、また、SMBCグループの一員としてグループ経営上の連携を確保する観点から、グループからも非常勤取締役を迎えております。

両氏ともに、当行の業務の適正を確保するため、客観的な立場から取締役会の審議へ参加することに加え、当行が抱える課題の本質を把握し、必要な助言、提言を受けております。取締役の任期は、経営環境の変化に迅速に対応し、職務執行の成果を毎年評価できるよう、1年としております。

監査役および監査役会

当行の監査役会は、3名の監査役で構成され、そのうち2名

は社外監査役です。社外監査役は、銀行業務やリスクマネジメント業務などに長年従事してきた専門家です。社内監査役は、SMBCグループから迎えています。

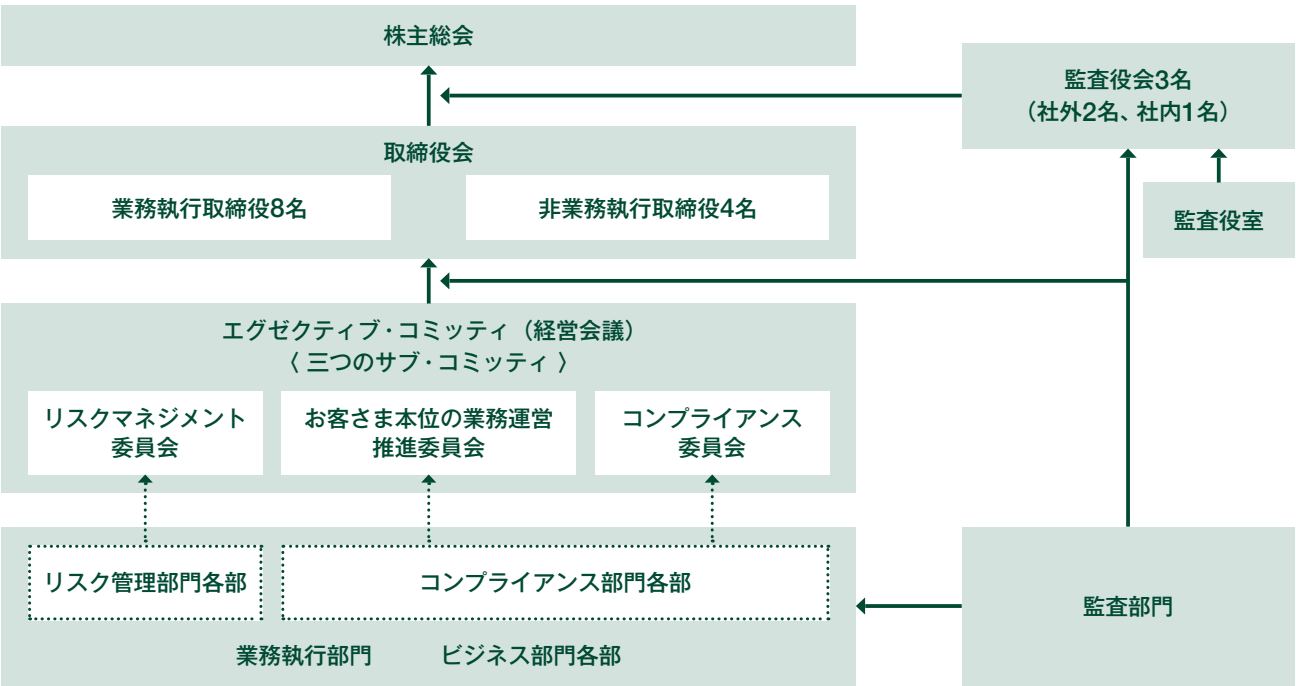
監査役会は定期的に代表取締役と会合を持ち、会社に対処すべき課題や監査上の重要課題について意見を交換し、必要と判断される措置を要請します。

監査役は、取締役の職務執行の監査を的確、公正かつ効率的に行っており、当行の経営に対する監督機能を十分に果たしています。

エグゼクティブ・コミッティ

当行は、執行役員制度を導入しており、業務執行および内部統制その他に係る決定並びに報告を目的として、取締役を兼務する執行役員などで構成するエグゼクティブ・コミッティを設置しております。エグゼクティブ・コミッティは、最高執行役員が招集し、原則毎週1回開催しており、経営の基本方針に基づく業務運営方針、計画・予算に関する事項などの決定を行っております。決議は、メンバーが過半数出席し、出席メンバーで協議したうえで、最高執行役員が決定いたします。また、エグゼクティブ・コミッティには、コンプライアンス、リスクマネジメントおよびお客さま本位の業務運営推進に係るサブ・コミッティを設けており、コンプライアンス、リスクマネジメントおよびお客さま本位の業務運営推進に関する調査、報告および提案を行っております。

コーポレートガバナンス体制図 (2026年4月1日現在)



リスク管理体制

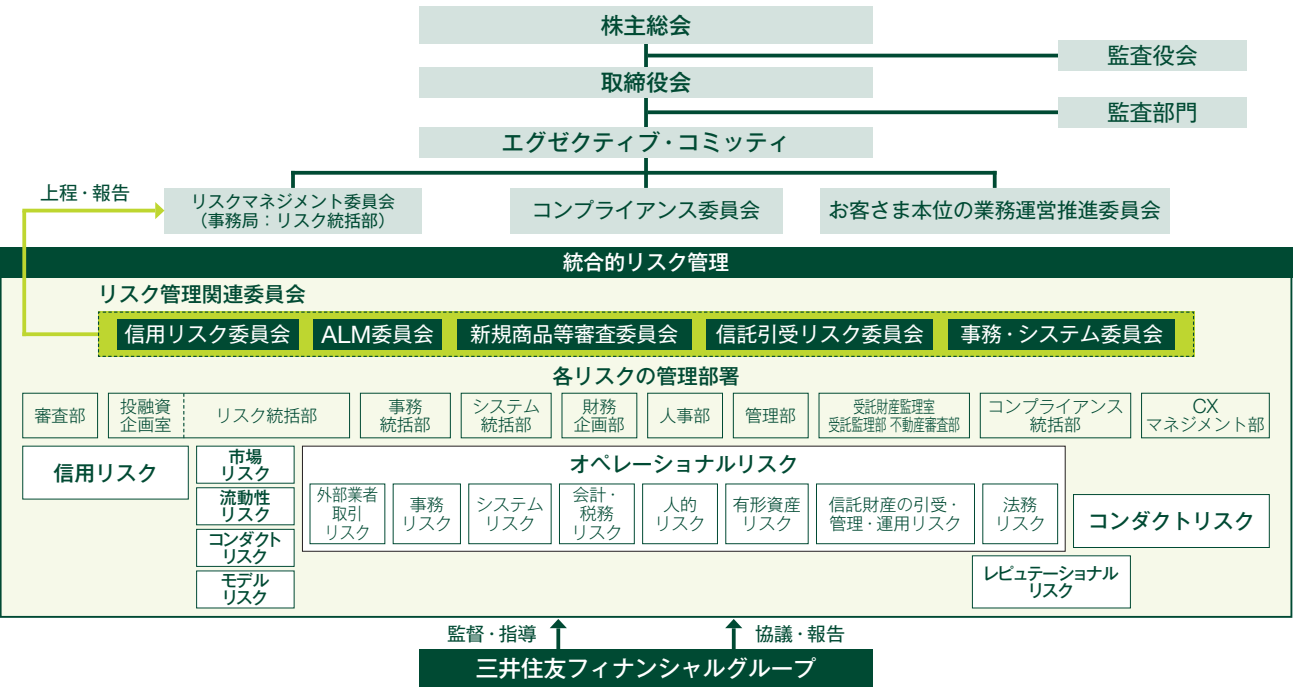
リスク管理体制の概要

当行は、預貸金業務や種々の金融商品、サービスの提供を行うSMBCグループの信託銀行として、平常時並びに緊急時のリスク管理が経営上の最重点課題の一つであると認識しております。業務に付随するリスクが多様化、複雑化していくなか、当行は、異なるリスクを統合的に捉えて管理を行うため、リスク管理における基本的事項を「統合的リスク管理基本方針」に定め、エグゼクティブ・コミッティのサブ・コミッティとして、リスク管理部門担当役員を議長とするリスクマネジメント委員会を設置し、リスク統括部をその事務局としております。

リスクマネジメント委員会において統合的リスク管理の状況の把握や必要な施策の協議が行われ、定期的にエグゼクテ

ィブ・コミッティに報告が行われます。その運営状況については取締役会による監督を受けており、リスク管理体制全般の有効性、適切性については、独立した監査部門による継続的な検証が行われております。

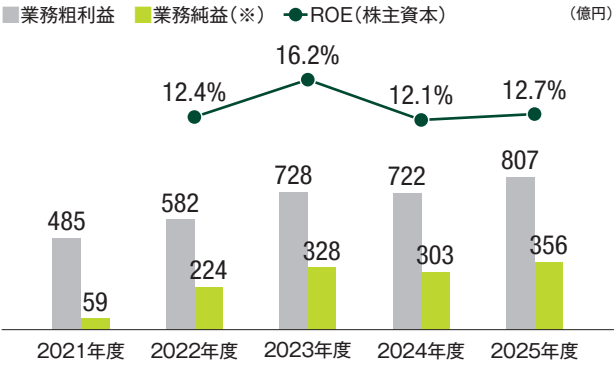
信用リスク、市場リスク、流動性リスクおよびオペレーショナルリスクなどの主要なリスクについては、各リスク管理部署が所管するリスクについて諸規程の整備を行うとともに、エグゼクティブ・コミッティが信用リスク委員会、ALM委員会などのリスク管理関連委員会を設置し、リスク管理関連委員会において各リスク管理に関する重要問題を協議して、リスクマネジメント委員会とエグゼクティブ・コミッティに上程・報告する体制としております。



管理すべきリスク	定義
信用リスク	与信先の財務状況の悪化等のクレジットイベント（信用事由）に起因して、資産（オフ・バランス資産を含む。）の価値が減少ないし滅失し、銀行が損失を被るリスク
市場リスク	金利・為替・価格などの相場が変動することにより、金融商品の時価が変動し、損失を被るリスク
流動性リスク	運用と調達の期間のミスマッチや予期せぬ資金の流出により、決済に必要な資金調達に支障を来したり、通常より著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたりするリスク
オペレーショナルリスク	不適切な内部手続、人的要因、システムまたは外部要因から損失が発生するリスク（外部業者取引リスク、事務リスク、システムリスク、法務リスク、会計・税務リスク、人的リスク、有形資産リスク、信託財産の引受・管理・運用リスクを含む。）
レピュテーションリスク	上記事象等の発生により当行の評判が失墜または毀損することにより損失を被るリスク
コンダクトリスク	法令や社会規範に反する行為等により、顧客保護・市場の健全性・公正な競争・公共の利益及び当行のステークホルダーに悪影響を及ぼすリスク
モデルリスク	モデルの開発もしくは実装での作業ミス、または、モデルの前提や限界を超えた利用等により、経営判断・業務判断等を誤り、損失・不利益を被るリスク。なお、モデルとは、「理論・仮定を用いて、入力データを処理し、推定値・予測値・スコア・分類等を出力する量的手法」をいう。

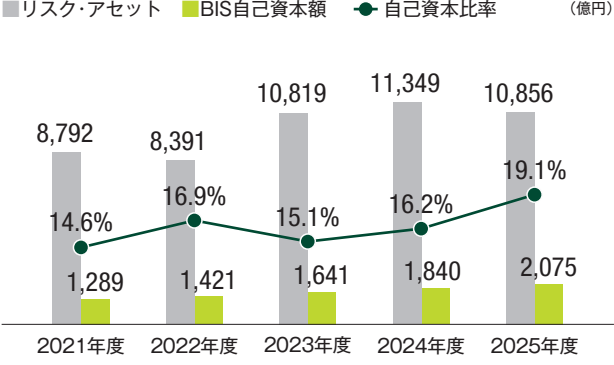
財務・非財務ハイライト

業務純益・ROE



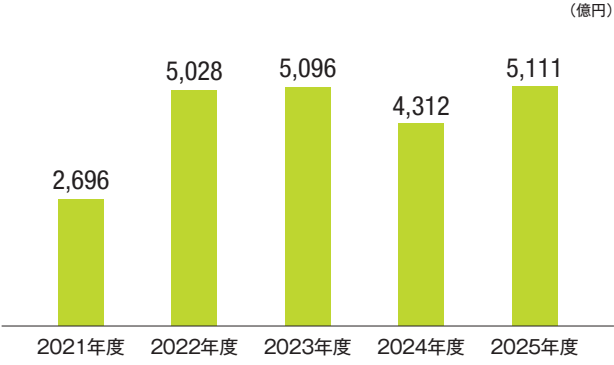
※ 一般貸倒引当金繰入前、経費は臨時処理分を除く

自己資本比率

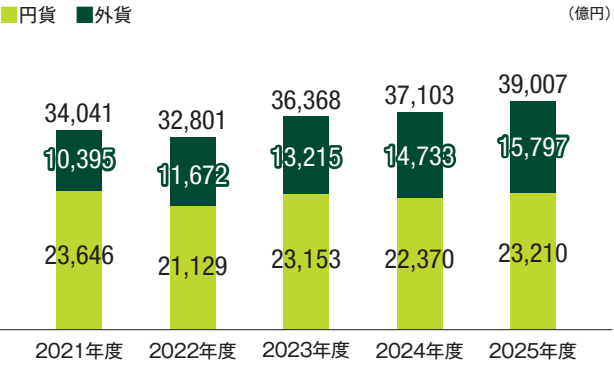


※ 2023年度末よりバーゼルⅢ最終化を適用

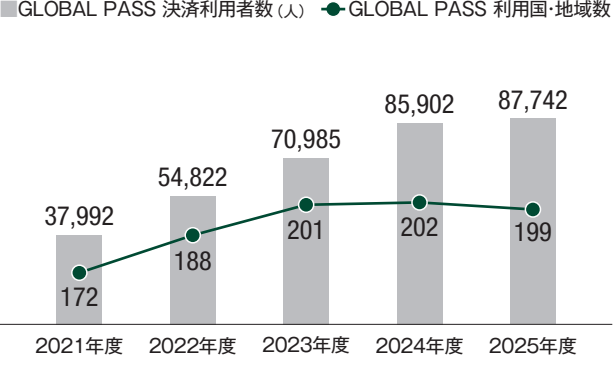
不動産アセットマネジメント AUM



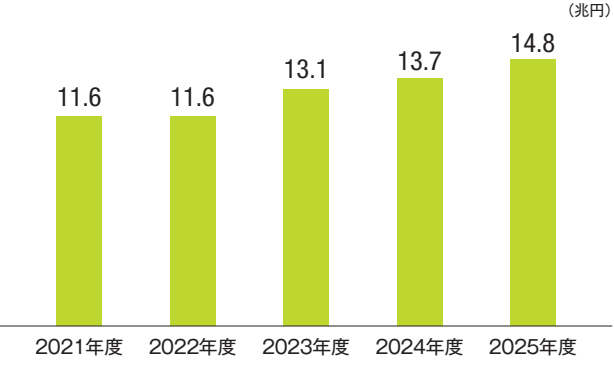
預金残高



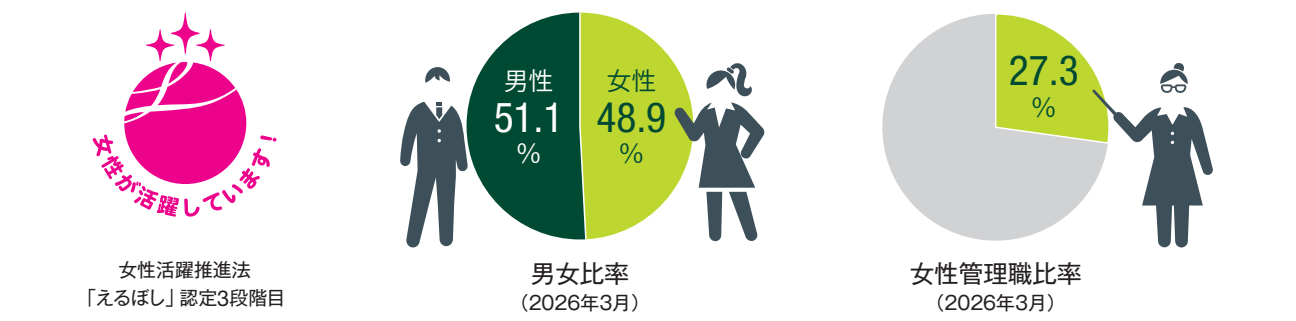
GLOBAL PASS利用者数／利用国・地域数



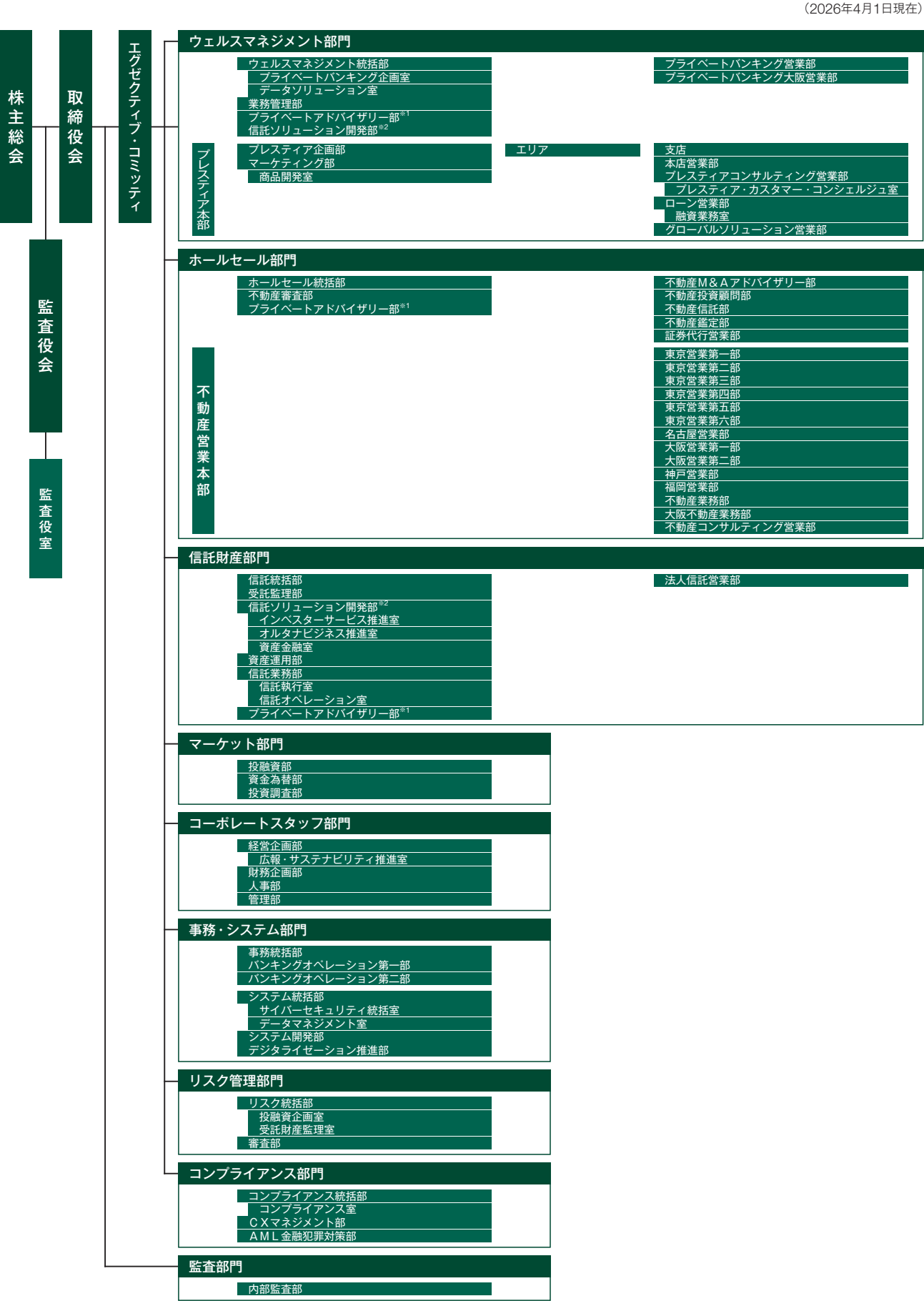
資産運用・管理残高



男女比率・女性管理職比率



組織図



※1 主はウェルスマネジメント部門に所属し、ホールセール部門及び信託財産部門を兼務 ※2 主は信託財産部門に所属し、ウェルスマネジメント部門を兼務

<https://www.smbctb.co.jp/>



会 社 名 株式会社SMBC信託銀行(英語表記:SMBC Trust Bank Ltd.)
本社所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目3番2号(三井住友銀行東館内)
TEL 03-6854-6800(代表)

